

2006年（平成18年）度第2回理事会記録

日時：2006年（平成18年）9月9日（土）14:00~16:30

場所：八重洲倶楽部 第11会議室

出席者：廣川信隆（理事長）、河田光博、澤田 元、柴田洋三郎、高田邦昭（以上、常務理事）、石村和敬、内山安男、大野伸一、近藤尚武、菅沼龍夫、杉浦康夫、高野吉郎、竹内義喜、脇田 稔（以上、理事）、中河志朗（監事）、依藤 宏（常任幹事）、天野恵子、古川智絵（以上、口腔保健協会）

欠席者：井出吉信、塩田浩平、藤本豊士（以上、理事）、仙波恵美子（監事）

I. 理事長挨拶

参加いただいた理事、監事の方々への謝辞に続き、医学教育、医学研究者養成における解剖学の重要性に触れ、学問としての独自性を守りながら発展させてゆく必要性について述べた。ついで解剖学会を取り巻く環境について、様々な事件も起きており、その対応について議論頂き、それをもとに今後の方針を決めてゆきたいとして挨拶を終えた。

II. 議事録署名人の選任

議事録署名人として杉浦康夫、大野伸一両理事が選任された。

III. 会議記録の確認

2006年(平成18年)度 第1回理事会記録、同摘録、同議事録（案）

2006年(平成18年)度 総会・学術評議員会記録、同摘録、同議事録（案）

IV. 報告事項

1. 庶務報告（高田庶務担当理事）

(1) 日本医学会の評議員・連絡委員等の選任

評議員として河田企画・渉外担当理事が、連絡委員として澤田会計担当理事が、用語委員として坂井解剖学用語委員会委員長が、用語代委員として金子武嗣解剖学用語委員会委員が選任されたことが報告された。

(2) 日本医学会分科会助成費について

従来、日本医学会より分科会助成費として毎年20万円が配分されていたが、平成19年度よりそれを改め、全額を一括して日本医学会の活動に使うとの通知があった旨が報告された。

(3) (財) 口腔保健協会との業務委託契約更新手続きの完了

標記の更新手続きが正式に完了した旨の報告があった。

(4) 科学技術政策研究所の調査における回答候補者の推薦

昨年度実施した科研費審査委員選挙の得票数の上位（解剖学一般4票以上10名、

神経解剖学3票以上5名)の合計15名を推薦したことが報告された。

(5)「解剖学用語(案)」のHP公開

解剖学用語委員会 坂井建雄委員長より「解剖学用語 改訂13版」の出版に先立ち、委員会原案をウェブ上で公開し学会員の意見・指摘を受け付けたい旨の連絡があったことが報告された。なお、公開部分は出版社との契約上、日本語部分のみであり、2006年9月1日～10月31日の期間である。

(6)日本学術会議について(この項は廣川理事長からの報告)

日本学術会議で、会員と連携会員からなり、形態学分野でボトムアップの意見を集める組織として、「形態・細胞生物医科学分科会」が正式に発足することになった。

(7)その他

①週刊ポストの記事について:人体解剖に関する興味本位の記事が出た件に関し、関係大学では当該学生に守秘義務を怠ったとして停学処分がで、また週刊ポスト側からは追加訂正の記事を出すことになったとの報告があった。

②教授就任による学術評議員申請:申請日をもって学術評議員となること、申請書はHPにおき、ダウンロードできるようにすることなどが報告された。

③ドイツ Anatomische Gesellschaft の President からの連絡:日本解剖学会と研究・教育面で連携してゆきたいとの希望が伝えられ、今後この連携を発展させること、来期の理事会にも引き継いでゆく方針であることなどが報告された。(この項は廣川理事長よりの報告)

2. 編集報告(柴田編集担当理事)

(1)解剖学雑誌及びA S I 刊行報告

両誌の第81巻3号が予定通り発刊されたことが報告された。

(2)メディカルオンラインについて

(株)メテオインターゲートより、「メディカルオンライン」に参画し、学会誌、抄録集等を電子化することについての提案があった。この件に関しては、今後話をすすめて、契約書のひな形ができた段階で再度審議することが了承された。

(3)A S I のオンライン化

Blackwell 出版からの見積書、提案書をもとに、来年度の科研費申請までに結論を出せるよう検討する旨、報告があった。

(4)平成18年度科研費補助金(研究成果公開促進費)の審査結果

標記の申請は採択されなかった旨の報告がなされた。

(5)その他

①全国学術集会抄録号について:従来のものには発行日の記載がないが、今後は発行日を入れること(特許との関係から)、およびISSN番号を入れることを会頭に依頼することになった。

②地方会抄録用紙について:中西印刷よりオフセット印刷用の原稿用紙がなく

なり、印刷するかどうかの問い合わせがあった。これに対して、フォーマットが決めてあれば枠はいらないとの判断から、作成しないことになった。

3. 企画・渉外報告（河田企画・渉外担当理事）

（1）平成18年度技術士資格試験

一級解剖技術士申請が一件、二級解剖組織技術士申請が一件あったことが報告された。なお、一級解剖技術士審査については、9月16日に技術士認定委員会による試験が行われる予定である。

（2）生物科学連合

ライフサイエンス系の22学会で構成されている生物科学連合の活動について報告があった。

（3）2007(平成19)年度日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況

シンポジウム、講演などについて、準備が進んでいる旨、報告があった。

（4）2010(平成22)年度日本解剖学会総会・全国学術集会開催校の募集

標記につき、募集をおこなっている旨、報告があった。

（5）その他

I F A Aの活動に関して：I F A AのニュースレターPlexus6月号の紹介がおこなわれた。

4. 会計報告（澤田会計担当理事）

（1）平成18年度中間決算書

標記につき報告がおこなわれた。

（2）平成18年度日本医学会分科会助成費の交付

標記の助成費を交付する旨の通知があったことが報告された。

III. 審議事項

1. 平成18年度補正予算（案）

今年度の科研費（研究成果公開促進費）が取得できなかったことを受けて、作成された補正予算案が提示され、審議の結果、承認された。

2. 新役員選挙概要（案）

今年度おこなわれる平成19-20年度役員選挙に関する日程等の概要が提示され、承認された。

3. 少量核燃料物質の安全管理用マニュアル（ウラン規制）（案）について

文部科学省の核燃料物質規制強化の動きに対し、生物系の電子顕微鏡試料を扱う3学会で陳情、検討して作成した使用に関するマニュアル（案）について、審議、了承された。なお、この案はHPに掲載して学会員に周知する予定である。

4. 第5回A P I C A開催国

2008年に開催される第5回A P I C Aの開催国に関し、関係国と調整した結果、イ

ランでおこなうことが決まったとの報告がおこなわれ、審議の結果、承認された。

5. 会員名簿発行について

会員名簿作成に関し、従来の経緯、現状と考慮すべき点の説明がおこなわれ、発行に関しては来期の執行部に発行の可否も含めて委ねるとの結論が了承された。

6. 学会員のメールアドレス等会員情報管理について

会員のメールアドレス(会員情報)の管理についてのガイドライン(案)が提示され、審議の結果、承認された。

7. 慈恵医大無資格解剖について

主としてマスコミによる報道資料および関係する法律をもとに経緯の説明と検討がおこなわれた。結論としては、①慈恵医大の場合は特殊な例である。②医学部、歯学部における一般の解剖学教育については従来通りで大きな問題はない。③コメディカルのメスを持つての解剖については更に検討すべき点があり、急いで結論を出す段階にはない。などである。

8. 次回理事会について

理事会は定款により年3回開くことになっている。しかるに、今年度は新役員の選挙の年にあたり、来年2月頃には新旧合同の理事会を開く必要があること、理事会を1回開催すると約50万円かかることなどから、11月～12月開催の平成18年度第3回理事会は持ち回りによるメール審議の形でおこないたいとの提案がなされ、了承された。

9. その他

解剖実習室のホルマリン濃度の低減に関する質問があり、諮問中の解剖体委員会に結論を急いで頂くことになった。